

六 郷

○ひとりだちのできる たくましい生徒の育成
○人権感覚豊かな 思いやりのある生徒の育成

学校便り 9月号
令和2年9月4日
松阪市立嬉野中学校
校長 山下隆久

勝つ喜び 負ける尊さ

成功の喜び 失敗の尊さ



まだまだ暑い日が続いております。保護者の皆様におかれましては、お変わりございませんでしょうか。生徒のみなさん、前期はどうでしたか。コロナ禍で思うようにできなかったことも多くありましたが、今回のことで得たことも多くあったように思います。中体連大会、中間テスト、学年体育大会など、日々の様々な生活がありました。勝った時、成功した時の喜びは格別だったでしょう。しかし、負けた時、失敗した時の悔しさから学ぶことも多かったはずです。多くの経験の中で人の心は豊かになります。

9月9日～11日は前期末テストです。前期のまとめです。生徒のみなさんには、自分を試す精一杯の取り組みを期待しています。

学校保健委員会

8月27日（木）学校保健委員会を開催しました。学校医の武藤先生、学校歯科医の馬瀬先生、学校薬剤師の平野先生やPTA会長の鳥山さんにも参加していただき、嬉野中生徒のみなさんの健康や学校の健康教育について考えました。

嬉野中生徒の健康状況は、概ね良好という結論でした。ただ視力低下に若干課題ありです。長時間のスマホ使用の影響があるかもしれません。視力改善には「遠くを見て、近くを見て」と遠近を交互に見てピントを合わすトレーニングをするとうまいです。またコロナ対策についてもご意見をいただきました。やはり「手洗い」「うがい」を徹底することが一番の対策だそうです。そして周りの対策だけに頼るのではなく、自分自身がどう対策対応するかという個々の意識が大事であると言われました。たとえば修学旅行に、個人で体温計やハンドタイプのアルコール消毒を持っていくなどです。



松阪地区総合体育大会表彰

- 【団体】 ○バレーボール 男子：優勝 女子：第3位
○剣道 男子：優勝 女子：優勝
○卓球 女子：第3位
○ソフトテニス 男子：第3位 女子：第3位
- 【個人】 ○ソフトテニス 男子：第3位 西川晃良・中川陽翔ペア



- 剣 道 男子：優勝 小谷侑矢 準優勝 奥田大秋 第3位 丸山士雄・船木大輔
 女子：優勝 高山遥香 準優勝 田中早絵 第3位 稲垣佳芳・奥村優藍
- 陸 上 優勝：女子 400mR 大森心葉・太陽優里・加藤 凜・谷口来瞳
 優勝：女子 100mH 大森心葉 準優勝：女子 200m 谷口来瞳
 準優勝：男子 400m 今川大樹 第3位：女子 100m 大森心葉
 第3位：男子 400mR 今川大樹・松下純弥・矢形文人・矢形心人



その人らしさをしっかり 理解して受け入れられる そんな自分になりたい



8月18日(火) 松阪市の中学生と高校生の代表が集って人権課題を話し合う「子ども人権文化フェスタ2020」が開催されました。嬉野中学校からは代表として、2年生の西口佳琳さん、丸山悠晟さん、坂本舜楓さん、森本りおんさんが参加しました。

玄関ロビーに掲示で報告されているように、現在松阪市職員としてお勤めの大西唯斗さんから、聴覚障がいのあるご自身の体験を聴かせていただき、その後グループ別で「障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい社会を築くために何が

できるか」をテーマにして話し合われました。

大西さんは、相可高校野球部で甲子園を目指した仲間とのかかわりから感じたことを話してくださいました。それが、「ろう者」とのコミュニケーションの方法やコミュニケーションのときに気をつけることでした。野球部の仲間は手話をどんどん覚えて、身振り手振り口を大きく動かして、とにかく伝えたいことを伝えようとしてくれたそうです。最後に、障がい者だからできない！と決めつけしないで、一緒にやってみてくださいと伝えられたことが印象に残っています。

後日、参加者4人から校長室で報告を受けました。学んだことや感想などを伝えてくれました。

「その人らしさをしっかり理解して受け入れられる、そんな自分になりたい」という見出しの言葉は、4人の共通した思いでした。そして、12月に開催される「嬉野中学校区人権フォーラム」に向けて、「その人らしさをしっかり理解することの大切さ」が伝わるフォーラムを準備していきたいという決意も伝えてくれました。

